

書類 番号	12
----------	----

南 保 発 第 15 号
令和8年10月20日

自治会町内会長 様

南保護司会
会長 伊東 秀明
南区更生保護女性会
会長 青山 かなよ

会報「更生保護みなみ（第63号）」の広報協力について

時下 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、かねてより両会が推進しております更生保護事業の諸般にわたり、ご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、既にご承知のとおり両会が実施している主要行事や日ごろの活動状況等を広く住民の方々にご紹介し、ご理解を深めていただくため標記会報を毎年春期と秋期に定期刊行しております。

このたび第63号を作成いたしました。ご多用の中、誠に恐縮ですが、会報を回覧数分お送りいたしますので貴自治会町内会にてご回覧いただきたく、ご配慮をお願いいたします。

【問合せ先】

南保護司会・南区更生保護女性会
事務局 田邊、西村
TEL：260-2510



発行 南保護司会
南区更生保護女性会
発行人 伊東秀明
編集人 永井正己
事務局 福祉協議会内
045-260-2510
承認 南区第30号
印刷所 株式会社日栄



第76回「社会を明るくする運動」南区推進大会

地域のチカラ ～犯罪のない明るい社会を～

7月5日（日）、第76回「社会を明るくする運動」南区推進大会が南公会堂で開催された。「社会を明るくする運動」とは、犯罪や非行を防止し、犯罪や非行をした人達の更生について理解を深め、地域の力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築くための全国的な活動である。

第1部の式典は、「開会のことば」で始まり、主催者代表として吉井肇大会委員長が「南の風はあたたかい」という言葉通りの地域である事を感じるとの挨拶に続き、伊東秀明南保護司会会長から「地域で作る明るい社会」のメッセージと共に、標語募集に多くの参加があったことへの感謝の意を表された。

続いて、社明推進大使に任命された高澤和義南区長に社明推進大使のタスキが渡され、内閣総理大臣からの「黄色い羽根のもと、犯罪や非行を防止し、社会を支える地域の力を」とのメッセージが伝達された。

来賓として高澤和義南区長、日向亨弘横浜保護観所社会復帰対策官、小柳徹也神奈川県南警察署長から祝辞を頂いた。

鉄拳さんのショートムービーの放映後、標語優秀作品表彰が行われた。

南区内の小中学校の中から、藤の木小学校、藤の木中学校、各校3名計6名が優秀作品として壇上で披露され、表彰された。応募された全ての作品は会場ロビーに展示された。

第2部のイベント交流は、藤の木小学校、藤の木中学校吹奏楽部による、地域活動報告や吹奏楽部による演奏が披露された。練習に取り組んできた成果を発表する姿に会場から盛大な拍手が寄せられた。

大会の最後に青山かなよ南区更生保護女性会会長から「黄色い羽根を心の中に、安心安全な社会を願って」との挨拶と共に、閉幕となった。南保護司会と南区更生保護女性会が一丸となって運営し、「再犯防止」を地域で支える実りある大会となった。更生保護のホゴちゃんの着ぐるみも人気となり会場は大いに盛り上がった。





「社会を明るくする運動」
第15回 標語入賞作品

*決めつけず 素顔で話し 認め合う
横浜市立藤の木中学校 堀切 陽奈

*ありがとう ごめんなさいは 自分から
横浜市立藤の木小学校 西村 優杜

*あいさつは 言葉をつなぐ おくりもの
横浜市立藤の木小学校 亀澤 怜生

*安心と 明るい社会は あなたから
横浜市立藤の木小学校 福田 二菜

*立ち直る 勇気を支える 街の風
横浜市立藤の木中学校 坂本 仁

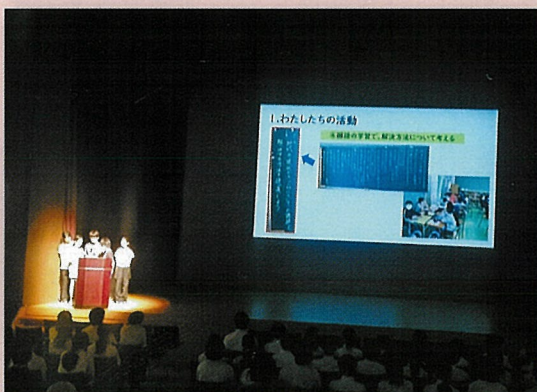
*大丈夫? その一言で 救われる
横浜市立藤の木中学校 佐藤 柚



第2部「イベント交流」

1. 藤の木小学校

「ゴミ拾いを通してできる明るい地域づくり」
スクリーンにスライドや動画を映しながら
取組みを説明



2. 藤の木中学校 吹奏楽部演奏(44名)

「士官候補生」
「白虎繚乱」
「好きすぎて滅!」
「ルパン三世のテーマ」
「ジャパニーズ・グラフィティⅡ」
銀河鉄道999
宇宙戦艦ヤマト
「宝島」



令和8年度 第Ⅰ期地域別定例研修会

6月9日(火)、福祉保健活動拠点において「第Ⅰ期地域別定例研修会」が開催された。「薬物事犯者等の処遇について」をテーマに横浜保護観所 寺沢善信観察官を講師として16名の保護司が参加して行われた。

保護観察において薬物事犯者の再犯防止と改善更生は重要な課題となっている。従来の覚醒剤に加え、大麻の乱用が若年層を中心に増加するなど多様化が懸念される。薬物使用が繰り返される背景には薬物依存症という問題が存在しており「犯罪」とすると同時に「病気」としての側面も有している。保護観察所では認知行動療法などステップを踏みながら再犯防止に向けた教育課程が行なわれている。

今回の研修では、薬物事犯者に対して行なわれる専門的処遇プログラム等の取り組み状況や、昨今の薬物犯罪の現状を確認した。薬物依存症への理解を深めると共に、担当する保護司が直面する各場面において事例検討を行なった。

何が再犯の引き金になるのか、保護司はどのように対応するかなどグループに分かれてそれぞれの経験や課題を話し合った。保護司が薬物事犯者に対したとき、薬物依存を理解し、何が薬物に向かわせてしまうかなど話を聞き取り、



対象者に寄り添うことの大切さを学んだ。今後の活動を行なう上で大変貴重な時間となった。

令和8年度 四区合同研修会

5月21日(木)「旅館松島」において、西区、中区、港南区、南区の四区合同研修会が開催された。今回の研修会では四区の他に磯子区、金沢区の参加もあり、他区17名、南区11名、寺沢善信観察官を招いて総勢29名での研修会となった。

今回の研修は、保護司会活動における「社会を明るくする運動」「広報宣伝活動」「専任教師との連携・地域事業への参加」「薬防・研修事業・処遇勉強会・SNSの活用」をテーマとし、グループ討議の形式で行なわれた。

着任しました

横浜保護観所
保護観察官
寺沢 善信

南保護司会並びに民間更生保護関係者の皆様方には、平素から更生保護活動にご尽力いただき、感謝申し上げます。

本年4月から南地区を担当させていただいております。南地区は令和元年に担当させていただいたことがあり、7年ぶりの担当となりますが、再び南保護司会の皆様にお会いすることができて、とても嬉しく感じております。改めてよろしくお願いいたします。

更生保護の目的は、失敗した人を受け入れ、やり直しを助けることで再犯防止を図り、安心安全な社会を作ることです。

現在の社会は、失敗に対する寛容さが欠如し、むしろ失敗を許さない風潮が強くなっており、ちょっとした失言や過ちがインターネットやSNS上で大きく取り上げられ、批判の対象になる傾向がみられます。

保護観察対象者の中には、更生意欲が乏しく、約束を守らなかったり、何度も失敗したりするものがあり、そのような保護観察対象者に対し、どうして約束を守ることができないのか、なぜ社会のルールを守ることができないのかという気持ちが湧くことがあります。我々は更生保護の目的を忘れず、寛容な気持ちを持って、保護観察対象者の気持ちに寄り添うことが大切だと思います。

引き続き、安心安全な社会を作るため、南保護司会並びに民間更生保護関係者の皆様と一緒に取り組んでまいりますので、よろしくお願い致します。

会の運営における苦労や工夫が活発な意見交換として行なわれ、保護司の活動を支える保護司会を元気あるものにしていくため、各グループで熱のこもった討議となった。各区の情報を取り入れ、自区の取り組みを発信しながら各区の情報を聞いて今後に活かす、大変有意義な研修会となった。





更生保護女性会だより



南さくらまつり

第3回“南さくらまつり”が令和8年3月21日・22日蒔田公園で開催されました。桜は早咲きが数本と少し寂しかったですが、ステージは歌や踊りで盛り上がり人出も多く賑やかな二日間でした。

更生保護女性会はキャビック製品（刑務所で作られる製品）、会員等からの献品、ライフビスケット（社会を明るくする運動に協賛して作られたもの）などを販売し収益金を今後の更生保護活動の支援のため使います。



令和7年度会員交流会



令和8年3月23日、上大岡のウイングにて会員交流会を実施しました。来賓の南区役所区長 高澤 和義様、南区連合町内会会長連絡協議会・南区社会福祉協議会会長 吉井 肇様、南区保護司会会長 伊東 秀明様、南区役所福祉センター 鈴木 陽子様より温かいお言葉を頂きました。

その後、講師として湘南ダルクケアセンターの施設長 来栖 次郎様に現況についてお話をいただきました。

ダルクからは施設長さんの他、利用者や、職員の方も見えて色々な体験など話してくださいました。オーバードーズ（薬の大量摂取）など、知らぬ間におちいる危険性のある依存症の話がありました。南区社会福祉協議会事務局長 若尾 恵子様乾杯の発声で懇親会に移り、会員紹介じゃんけん大会等を楽しみました。



南区更生保護女性会総会

令和8年度南区更生保護女性会の総会は5月に書面総会を実施しました。会員の皆様に議案書を送付

(1)令和7年度事業報告について

令和7年度収支決算報告について

(2)令和8年度事業計画(案)について

令和8年度収支予算(案)について

5月25日の更生保護女性会の理事会において

理事会出席者 11名

書面表決書 賛成 46名にて可決致しました。

ご協力ありがとうございました。

令和8年度
総会議案書



南区更生保護女性会

第76回「社会を明るくする運動」南区大会

令和8年7月5日（日）「社会を明るくする運動」南区推進大会を南公会堂で開催しました。

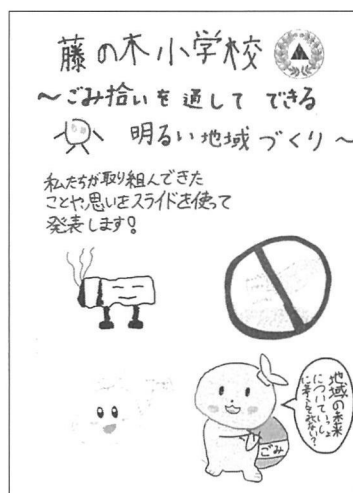
令和8年度は藤の木小学校、藤の木中学校、の児童、生徒に「社会を明るくする運動」の標語をお願いするため1月27日藤の木小学校、1月29日藤の木中学校へ南区独自の紙芝居を持ち「社会を明るくする運動」の説明に保護司会と更生保護女性会で伺い、紙芝居を見た子ども達は真剣なまなざしで標語にとり組んでいました。優秀作品をはじめ、全作品をすべてロビーに展示しました。

当日は会場に来て頂いた皆様にプログラムや、「社会を明るくする運動」のシンボル黄色い羽根など、入口にて配布しました。

第一部では式典及び優秀作品の表彰式を行いました。

第二部では藤の木小学校の “ゴミ拾いを通してできる明るい地域づくり～” の発表

藤の木中学校の吹奏楽部の演奏で大いに会場は盛り上がり無事終了致しました。



児童・生徒力作のプログラム



観客席

これからの予定

10月～11月 市内外の矯正施設や更生保護施設への訪問 実施予定

11月 南区更生保護女性会 講演（研修会）

11月11日（水） PM2：00より

イムス横浜狩場脳神経外科病院 院長 谷井 雅人様

1月 南区保護司会と合同で新年会開催予定

3月 ・会員交流会 令和9年3月15日（月）

ゆめおおおかオフィスタワー 902研修室

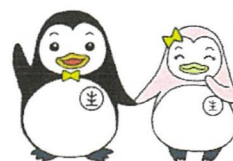
・第4回桜まつり 3月20日（土）・21日（日）

支援活動 9月・10月・11月・2月

協力施設への食事作り支援（まこと寮）

県更女連盟 更生保護大会への参加

市更女連盟 各種研修会への参加



令和8年度 南保護司会総会

5月22日(金)、南区社会福祉保健活動拠点において、南保護司会総会が開催された。

伊東秀明南保護司会会長から、日頃の保護司活動は基より、保護司会の行事にも積極的に参加して頂きたいとの挨拶で総会が始まった。

令和7年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告が行われ、令和8年度の事業計画及び予算案について審議が行われた。質疑応答の後、全ての議案が承認された。

総会終了後、横浜保護観察所川本悠一企画調整課長の特別研修が行われた。「社会を明るくする運動」では、保護司をはじめとする更生保護ボランティアの存在や役割を広く知ってもらうことを今年度のテーマとして活動を展開していく方針が説明された。

会場を「旬彩ダイニング月兎」に移して懇親会が開かれた。会食の際には日々の苦労話や現状を報告し合い、先輩保護司からのアドバイスを話して頂いた。各人が真剣に保護司活動している現状を知ることができた。

会員にとって楽しい時間となり、和やかな笑い声が聞こえる有意義な懇親会になった。



第76回 社明ミ二集会報告 (令和8年9月30日現在)

地 区	実施日	人数	内 容
お三の宮地区連合町内会	9月1日	37名	講話「わが町の安全安心を考えよう」
堀ノ内陸連合地区自治会	7月29日	43名	講話「学校における防犯対策」
中村地区連合町内会	7月5日	125名	七夕フェスタにて啓発活動・グッズ配布
井土ヶ谷地区連合町内会	7月11日	37名	講話「中学生が地域を守る防災へ」
南永田山王台連合町内会	8月7日	40名	講話「中学生の実情、生活態度について」
北永田地区連合町内会	7月29日	40名	講話「薬物使用について」
本大岡地区連合町内会	8月2日	29名	講話「犯罪被害にあわないための防犯対策」
大岡地区連合町内会	8月21日	21名	講話「犯罪被害にあわないための防犯対策」